

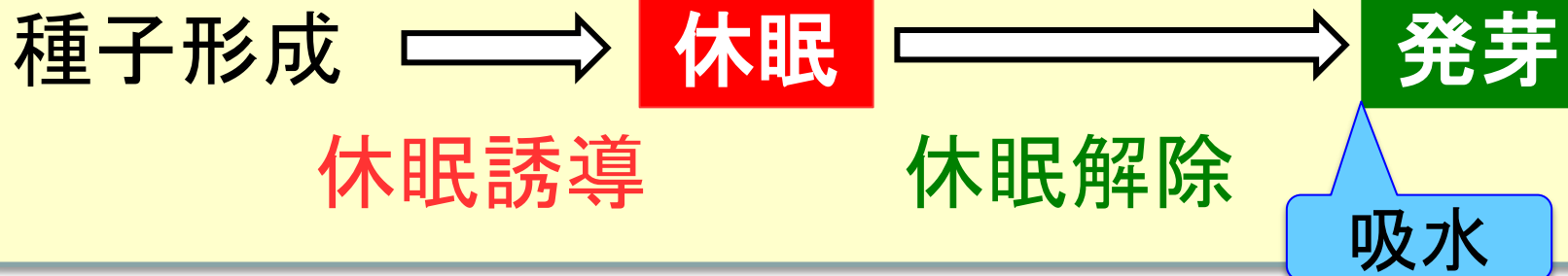
# イネの発芽・生長の調節機構に関する研究



発芽と初期生長は、苗立ちやその後の生長に影響するため、その仕組みを解明することは農業上重要である

本研究室では、エチレンによるイネの発芽・生長調節機構の解析を進めている

# イネの発芽・生長の調節機構に関する研究



- ・ 休眠誘導 = 穀類種子の穂発芽の抑制に必要
- ・ 休眠解除 = 斉一な発芽に必要
- ・ 発芽と初期生長の遅れは、生育全体に悪影響を及ぼす



休眠・発芽は、作物の栽培においても重要な問題である

# イネの発芽・生長の調節機構に関する研究

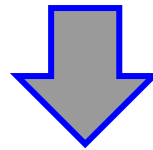
現状

種子の休眠・発芽の仕組みが、遺伝子レベルで  
解明されつつある

→ 主にシロイヌナズナを用いて研究が進んでいる

しかし

穀類の種子の形態・構造、発芽様式は、  
シロイヌナズナと大きく異なる



イネ種子の休眠や発芽の仕組みを解明する

イネの休眠・発芽の調節に関わる遺伝子を解析する